

雑誌広告デジタル送稿

モノクロ(グレースケール) PDF 制作ガイド

2025/9/1 改訂

2025年版

雑誌広告デジタル送稿推進協議会
日本雑誌協会 日本雑誌広告協会 日本広告業協会

CONTENTS

01 モノクロ(グレースケール)PDF制作ルール

制作環境	3
 Photoshop	4
 Illustrator	5~12

02 モノクロ(グレースケール)PDF作成方法

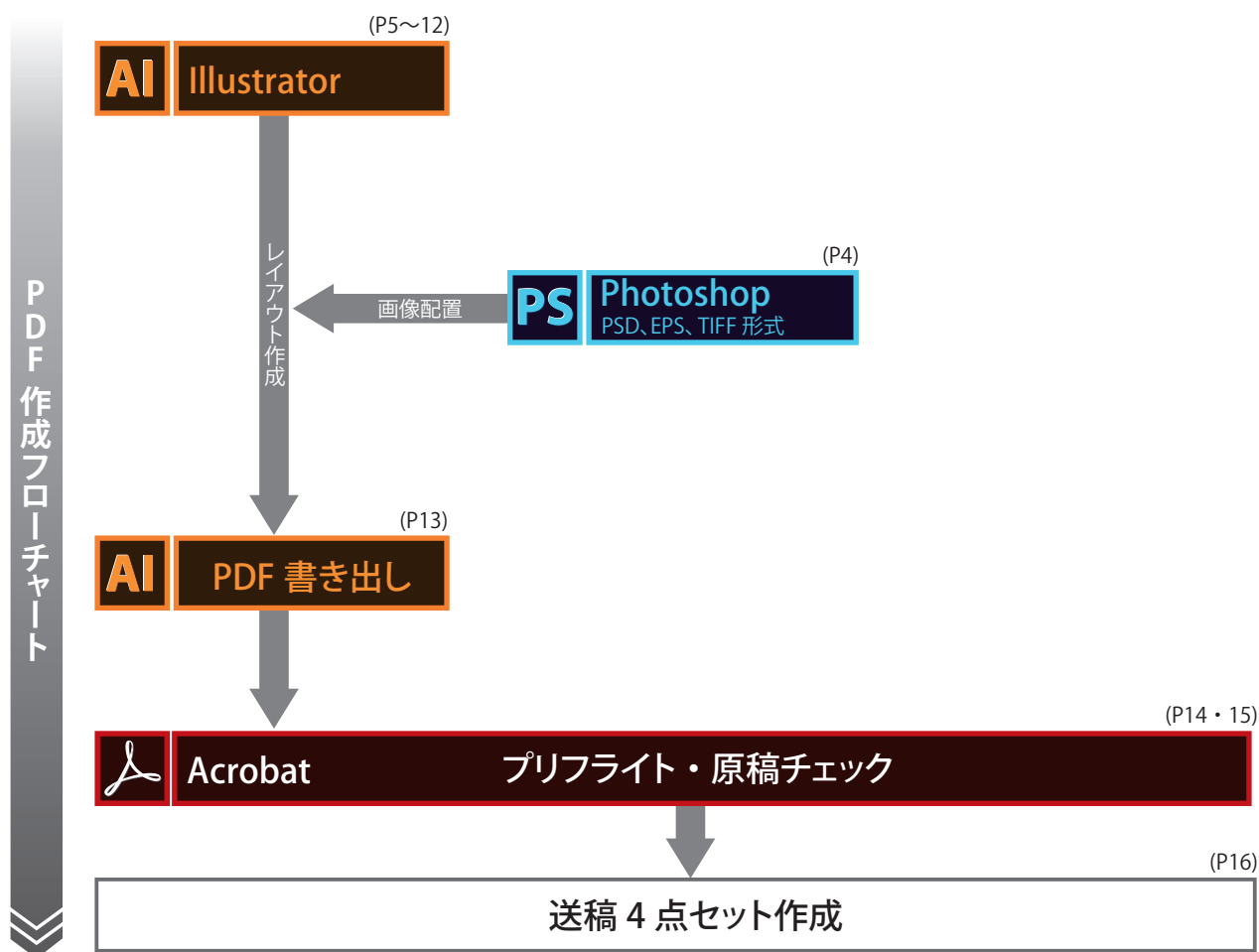
 Illustrator	13
---	----

03 モノクロ(グレースケール)PDFプリフライト

 Acrobat	14・15
---	-------

04 送稿セット作成・出力見本について

16



01

モノクロ(グレースケール)PDF制作ルール

本ガイドで使用しているキャプチャーおよび文言は、Mac版 Adobe Creative Cloud製品から引用しています。その他のOS・バージョンにおいて表記が異なる場合がありますが、アプリケーションのヘルプ等を参照し、ガイドに記載の設定・手順と同じになるように制作進行をお願いします。

制作環境

☐ データフォーマット

Mac版 / Windows版 Illustratorから書き出したPDF形式。雑誌広告デジタル送稿推進協議会が配布する最新の[PDF設定]を利用する。Acrobat Distiller やその他のアプリケーションからPDFを作成しない。

☐ 使用システム

Illustrator のバージョンに合わせ、それぞれ推奨される OS を使用する。

☐ 制作アプリケーション

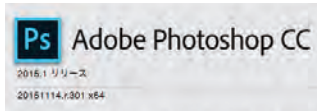
Photoshop・Illustrator・Acrobat Pro に限られ、それぞれ Adobe がサポートしているバージョンのみ使用可能。各アプリケーションは最新のバージョンにアップデートする。

※InDesign は使用不可

各アプリケーションのバージョン確認方法

Photoshop CC の場合

プルダウンメニュー [Photoshop CC] から [Adobe Photoshop CC について...] を選択



Illustrator CC の場合

プルダウンメニュー [Illustrator CC] から [Illustrator について...] を選択



Acrobat Pro DC の場合

プルダウンメニュー [Acrobat Pro] から [Adobe Acrobat Pro DC について] を選択



※Windows の場合はメニューバー [ヘルプ]→[(各アプリケーション) について] で確認する

☐ ウイルスチェック

必ずウイルスチェックをしたメディアを使用する。

☐ データ圧縮

原稿データを圧縮ソフトで圧縮しない。

☐ ファイル名

レイアウトデータ、配置データのファイル名は、半角カタカナと半角記号を使用しない。アンダーバー [_] 及び括弧のドット [.] は使用可。文字数は、括弧を含め 31 文字以内とする。

☐ データ量

原稿データのデータ量は 600MB 以下にする。

☐ プリフライト

作成した [モノクロ(グレースケール)PDF] は、雑誌広告デジタル送稿推進協議会が配布する最新の [プリフライトプロファイル] を用い、Acrobat Pro でデータのプリフライトを実施し、不備のない事を確認する。

■ カラーモード

グレースケール、モノクロ 2 階調を使用する。CMYK、RGB、ダブルトーン、カスタムカラー等は使用しない。

■ 画像解像度

多値画像は最終出力解像度が290～450dpi、二値画像は1000～3000dpiにする。
拡大縮小率は多値、二値画像共に80～120%とする。



画像のトリミングに関して

画像データはPhotoshopで適切な範囲にトリミングし、データを軽くした上でIllustratorに配置することを推奨。

トリミングの目安としては、総面積比の200%程度までとする。

※マスク処理されて隠れている範囲が大きい画像データは、不必要にデータが重くなり、作業効率が低下します。

画像データを修正した際は、レイアウトデータを再保存する。

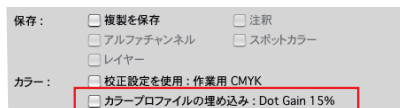
■ クリッピングパス

クリッピングパスの[平滑度]は、0.2デバイスピクセルに設定する。



■ ICCプロファイル

ICCプロファイルの埋め込みはしない。



[カラープロファイルの埋め込み]のチェックは外す

■ 画像の保存形式

- ・ 画像データのフォーマットは、PSD (Photoshopネイティブ形式)、EPS、TIFFを使用する。 ※PSD形式推奨
- ・ レイヤーは統合する。



Photoshop上で文字を扱う場合は、文字が350dpiでラスター化され、がたつきが生じる恐れがありますのでご注意ください。

EPS、TIFF形式は以下のルールに従い、適切に使用する。

EPS形式

保存時の[EPSオプション]で、

- ・ [エンコーディング]は、[ASCII85]を選択する。①
- ・ [ハーフトーンスクリーンを含める]のチェックを外す。
- ・ [トランスファー関数を含める]のチェックを外す。
- ・ [ポストスクリプトカラーマネジメント]のチェックを外す。
- ・ [画像補間方式]のチェックを外す。②



TIFF形式

保存時の[TIFFオプション]で、

- ・ [画像圧縮]は[なし]または[LZW]、[ZIP]を選択する。③

※JPEG圧縮は不可。



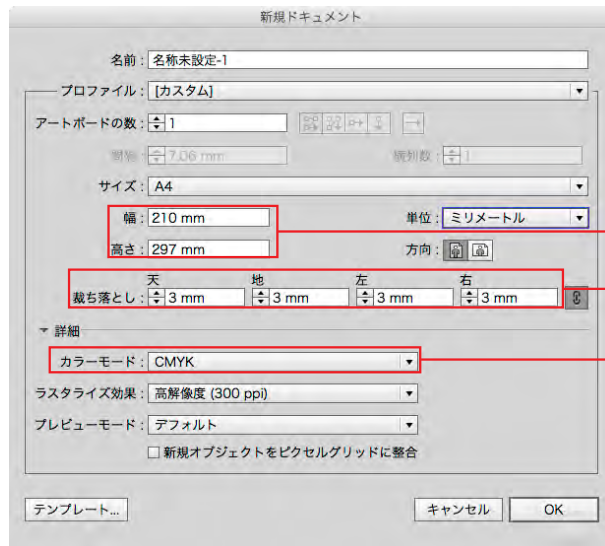
■ 原稿サイズ・裁ち落とし・塗り足し・カラーモード

新規ドキュメント作成時またはドキュメント設定画面にて仕上がりサイズをページサイズとして設定する。**①**

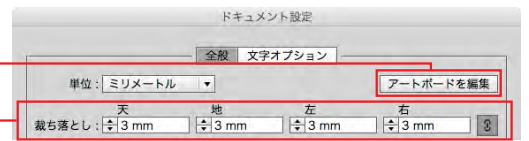
裁ち落としを天地左右3mm(雑誌により例外あり)に設定する。**②**

カラーモードをCMYKに設定する。**③**

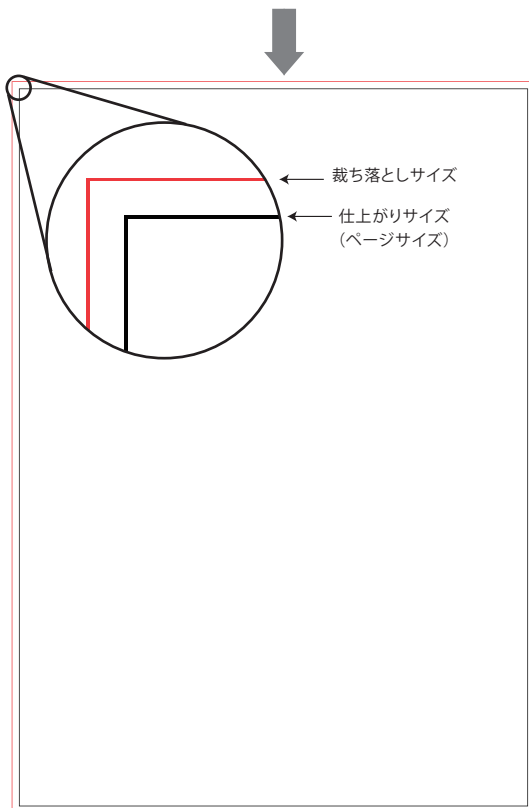
裁ち落とし部分には塗り足しを正しく設定する。(雑誌により例外あり)**④**



新規ドキュメント作成画面



ドキュメント設定画面



レイアウト
作成



■ トンボ

Illustrator上で発生させるトンボ(トリムマーク)は使用不可。

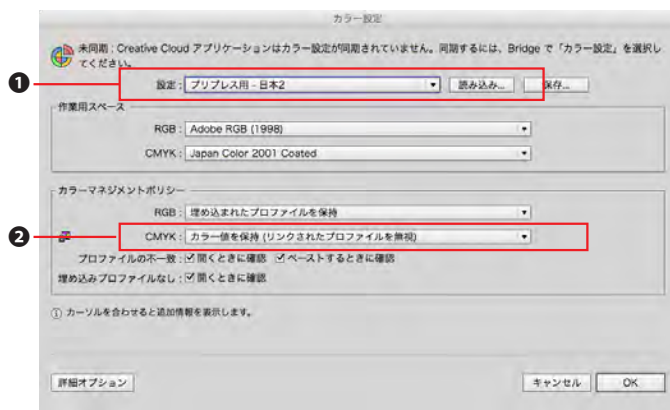
トンボはPDF保存時に[PDF設定]に規定されている設定を元に自動発生するため、原稿内に手動で作成する必要がない。



■ カラー設定

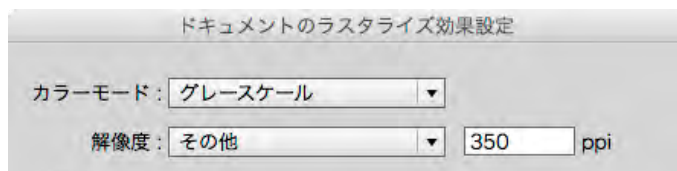
[編集]メニューの[カラー設定]の[設定]で[Adobe® Illustrator® 5.5をエミュレート]は使用しない。①

[カラーマネジメントポリシー]のCMYKは[カラー値を保持(リンクされたプロファイルを無視)]を選択する。②



■ 効果メニュー

[効果]メニューの[ドキュメントのラスタライズ効果設定]の[カラーモード]を[グレースケール]に、[解像度]を[その他 350ppi]に設定する。

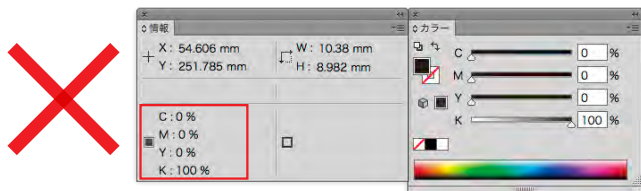


■ レイヤー・オブジェクト設定

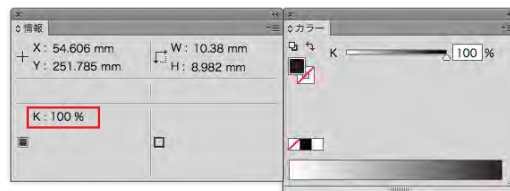
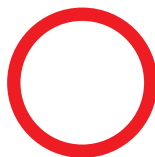
テンプレートレイヤー、非表示レイヤー、非印刷レイヤー、ロックレイヤー、非表示オブジェクト、ロックオブジェクトの設定はしない。

■ 使用色

オブジェクトはグレースケールのみで作成する。CMY0%+K0~100%、CMYK、RGB、スポットカラー(カスタムカラー)は使用不可。
原稿データ内に不要な版の色指定はしない。



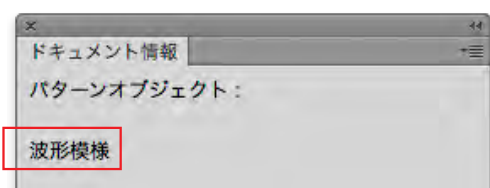
CMY0 K100%のオブジェクト



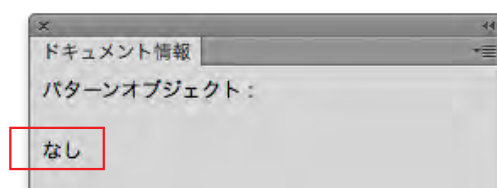
K100%のオブジェクト

■ パターンの分割

パターンを使用している場合は、分割・拡張を行う。



パターンオブジェクトの有無は[ドキュメント情報]パネルで確認できます。[書類情報]パレットで、[選択内容のみ]のチェックを外して、[パターンオブジェクト]を選択すると、原稿内で使用しているパターンオブジェクトが表示されます。



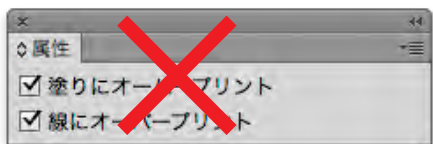
パターン分割後は、表示が「なし」になることを確認してください。

■ フォント

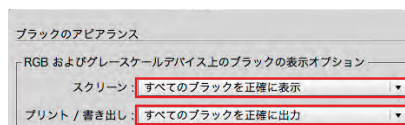
フォントはエンベッドせず、全てアウトライン化する。フォントデータを含む孤立点は、原稿データ内に入れない。

■ オーバープリント

全てのオブジェクト・画像にオーバープリント設定は行わない。



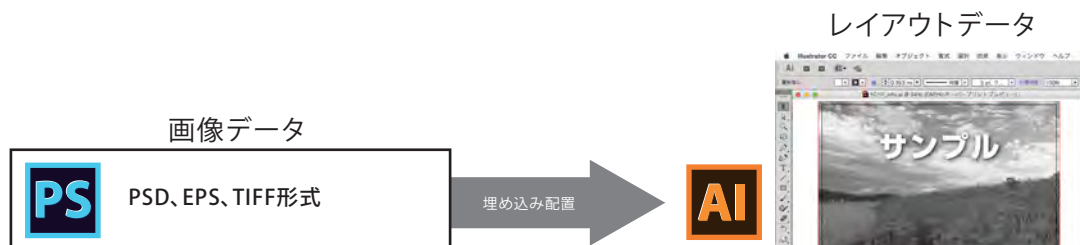
! Illustrator環境設定[ブラックのアピアランス]を以下の設定にしてください。意図しない仕上がりに結果になる可能性があります。



画面表示を正しくする為に[すべてのブラックを正確に表示]を選択してください。
出力結果を正しくする為に[すべてのブラックを正確に出力]を選択してください。

■ 配置素材

画像の配置は[ファイル]メニューから[配置]を選択して行い、他のアプリケーション上でコピーしたオブジェクトはIllustratorファイル上にペーストしない。配置できる形式はPhotoshopで作成したPSD、EPS、TIFF形式のみ。画像は全て埋め込む。

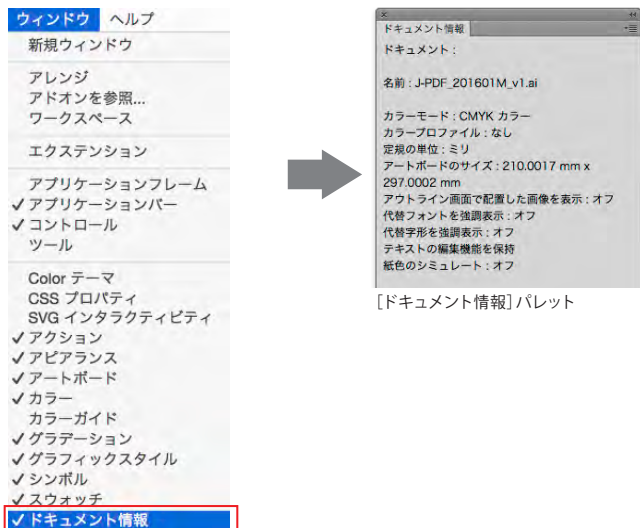


! 配置した画像には塗りの設定を行わないでください。グレースケールで画像を作成していてもPDFへ書き出した際にCMYKモードの画像として認識されてしまいプリフライトエラーとなります。



参考 原稿内オブジェクトの確認方法

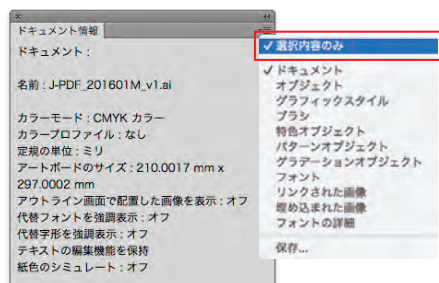
[ウィンドウ]メニューから[ドキュメント情報]を選択して[ドキュメント情報]パレットを表示する。



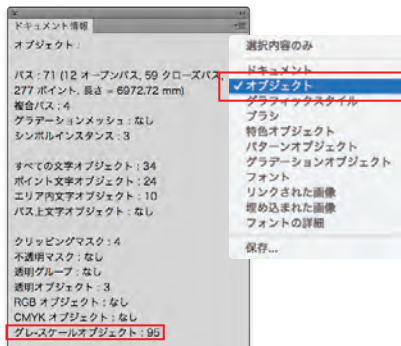
[選択内容のみ]のチェックを外す①

[オブジェクト]を選択。全てのオブジェクトがグレースケールのみになっていることを確認する。②

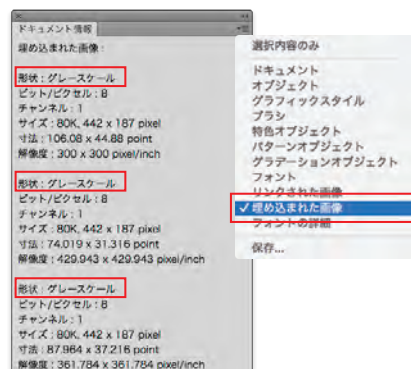
[埋め込まれた画像]を選択。全ての画像がグレースケール・モノクロ 2 階調のみになっていることを確認する。③



① [選択内容のみ]のチェックを外す



② [オブジェクト]を選択し、全てのオブジェクトがグレースケールになっていることを確認する。

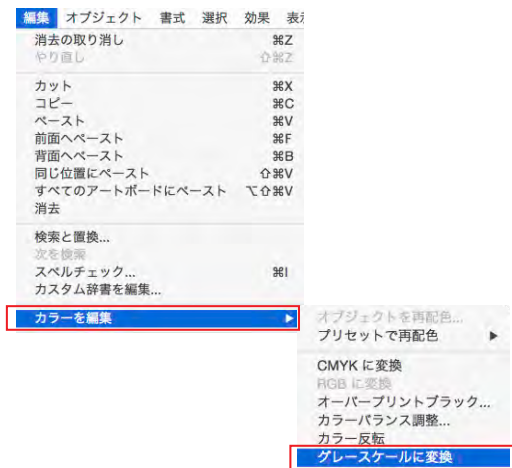


③ [埋め込まれた画像]を選択し、全ての画像がグレースケールまたはモノクロ2階調になっていることを確認する。

参考

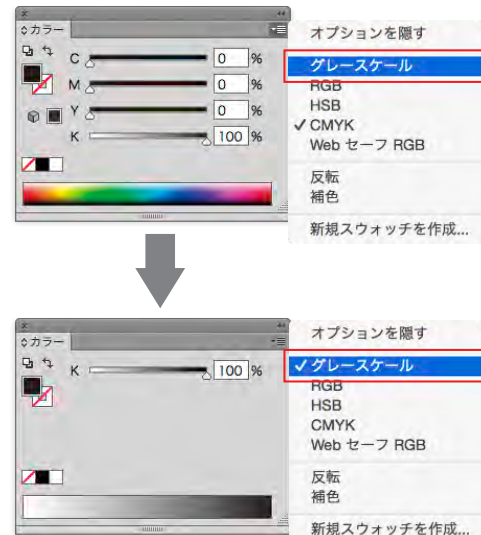
グレースケールへの変換方法1

オブジェクトを選択し、[編集]メニューの[カラーを編集]から[グレースケールに変換]を選択する。



グレースケールへの変換方法2

オブジェクトを選択し、[カラーパレット]から[グレースケール]を選択する。



!

全ての効果・フィルターメニュー・透明オブジェクトはCMYKでイメージが作成される為、モノクロ(グレースケール)PDF原稿作成時は透明オブジェクトをラスタライズ(透明の分割・統合)し、グレースケールモードに変換する必要があります。以降1～5の手順で処理を行ってください。

1.透明オブジェクトが使用されている場所を特定する。

[ウィンドウ]メニューの[分割・統合プレビュー]を選択して[分割・統合プレビュー]パレットを表示する。

[更新ボタン]をクリックし①ハイライト[透明オブジェクト]を選択する。②

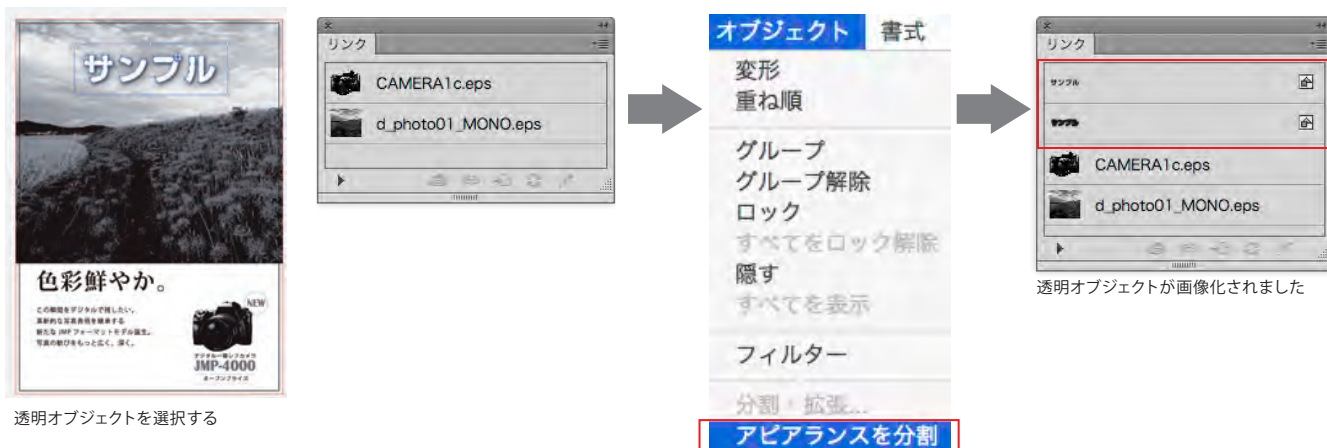
※ [透明オブジェクト]がグレイアウトされて選択できない場合はドキュメント上に透明機能が使用されていないので以降の処理は不要です。



2.アピアランスの分割(透明部分の画像化)

[分割・統合プレビュー]パレットで確認した透明オブジェクトを選択し、[アピアランスを分割]を選択する。

※フィルターメニューを使用して作成されたオブジェクトは、作成時にアピアランスが分割されるため、[アピアランスを分割]がグレイアウトしていますので、処理の必要はありません。また、画像に透明効果を使用している場合も処理の必要はありません。

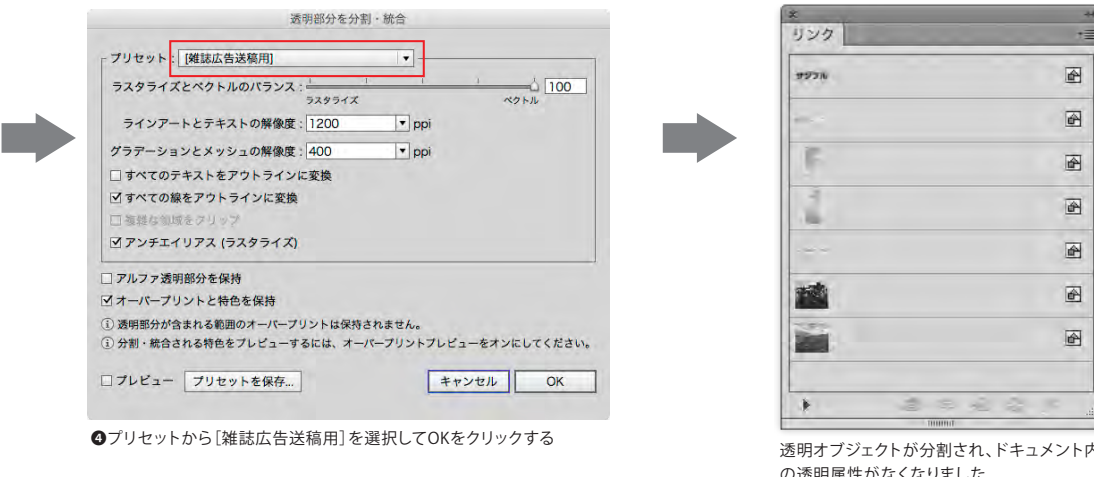


3.透明部分の分割・統合

[分割・統合プレビュー]パレットのハイライト[影響されるすべてのオブジェクト]で透明オブジェクトが影響するオブジェクトを確認する。③

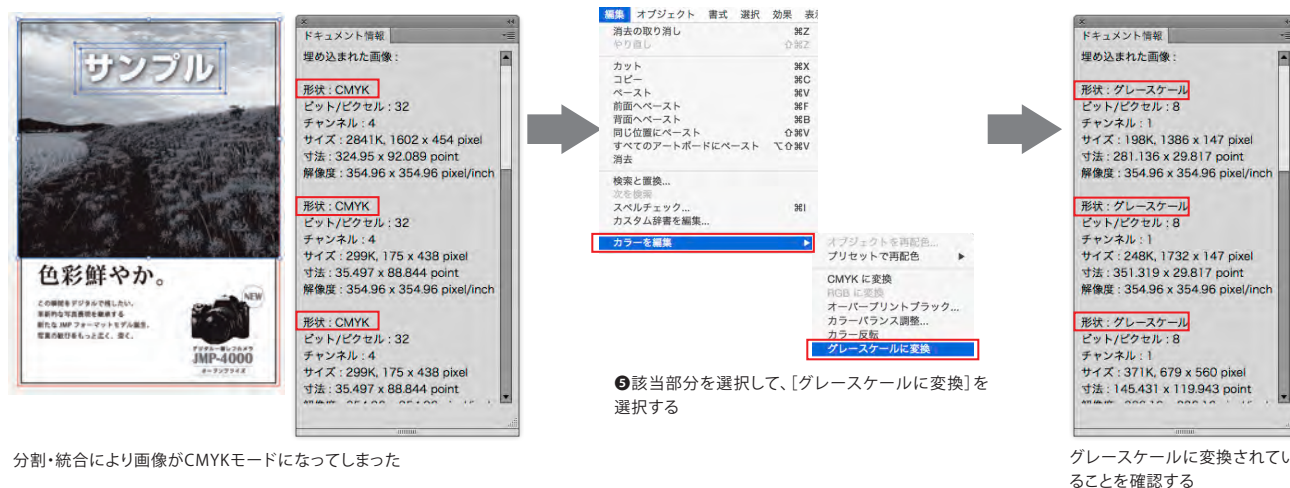
影響されるすべてのオブジェクトを選択し、[オブジェクト]メニューの[透明部分を分割・統合]を選択し[雑誌広告送稿用]を選択する。④

※[雑誌広告送稿用]はP13の[AdobePDFプリセットを読み込み]により自動で追加されます。



4. 分割した画像のグレースケール化

[透明部分を分割・統合]で作成した画像はCMYKモードに変換されてしまう為、[編集]メニューの[カラーを編集]から[グレースケールに変換]でグレースケール化を行なう。⑤



5. 最終確認

P8を参照して原稿内のオブジェクトがグレースケールで作成されているか最終確認を行ってからPDFを書き出してください。

<モノクロ(グレースケール)PDFデータ制作に関する注意点抜粋>

- ・ [効果]メニューの[ドキュメントのラスタライズ効果設定]の[カラーモード]を[グレースケール]に設定
- ・ 原稿オブジェクトはグレースケールのみ使用する。CMY0%+K0~100%、CMYK、RGB、スポットカラーは使用不可。
- ・ 配置画像に塗りの設定は行なわない。
- ・ 情報パレットの[オブジェクト][埋め込まれた画像]でグレースケール以外が使用されていないことを確認する。
- ・ 透明オブジェクトを使用している場合は、[アピアランスの分割]をした後[透明部分を分割・統合]を行い、分割された画像を選択してグレースケールに変換する。

<データ制作に関する注意事項>



- ・ 8.5pt未満のヌキ文字を使用すると、本機印刷時にツブレなど発生する場合があります。
- ・ 0.3pt未満の罫を使用すると、本機印刷時にカスレなど発生する場合があります。
- ・ 10%未満の平網を使用すると、本機印刷時に再現されない場合があります。

■ 特殊ページ制作方法

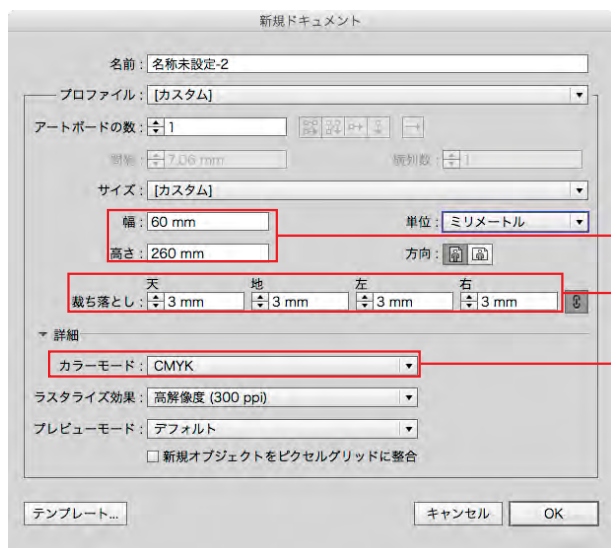
小枠原稿

新規ドキュメント作成時またはドキュメント設定画面にて仕上がりサイズをページサイズとして設定する。^①

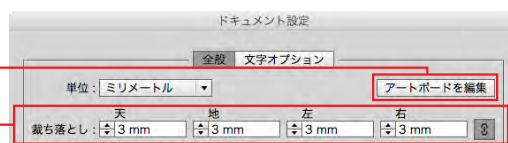
裁ち落としを天地左右3mm (雑誌により例外あり) に設定する。^②

カラーモードをCMYKに設定する。^③

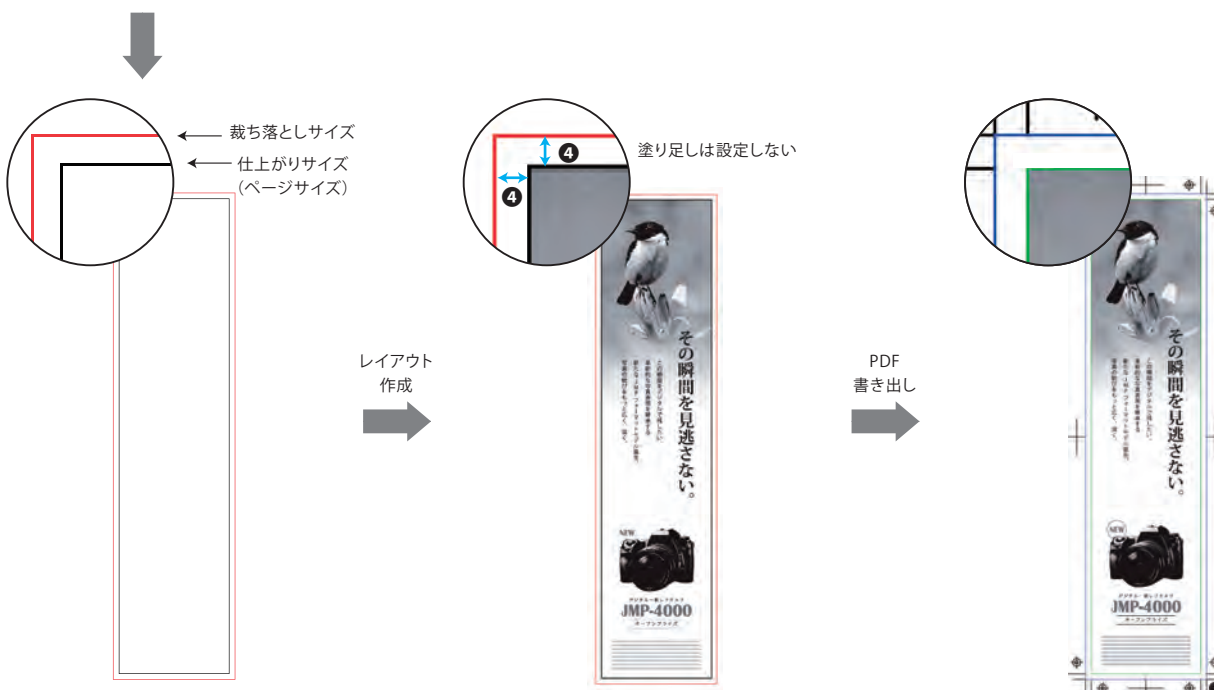
裁ち落とし部分には塗り足しを入れない。(雑誌により例外あり) ^④



新規ドキュメント作成画面



ドキュメント設定画面



02 モノクロ(グレースケール)PDF作成方法

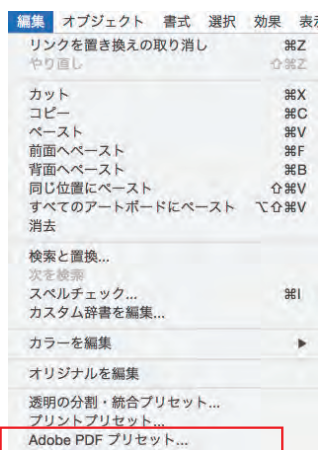
モノクロ(グレースケール)PDF作成方法／Illustrator

AI

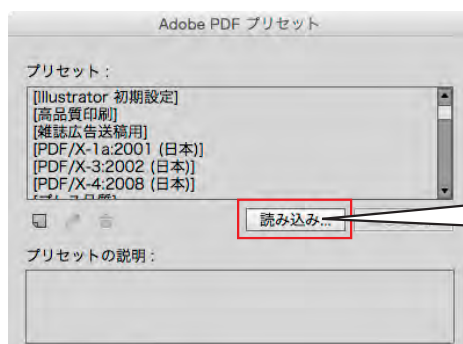
■ AdobePDFプリセットを読み込み

[雑誌広告送稿用_200909] 及び Adobe ソフトウェア に同梱されている [雑誌広告送稿用] は使用できません。
雑誌デジ送ナビ <http://www.3djma.jp/> より最新の「PDF 設定」をダウンロードしてご利用ください。

※ Adobe PDF プリセットは JMPA カラー準拠 PDF で使用するファイルと同一です。



1. [編集]メニューから
[Adobe PDF プリセット]を選択します。



2. [読み込み] ボタンをクリックし、ダウンロードした規定の
[PDF 設定]を読み込んでください。

<http://www.3djma.jp/>

雑誌デジ送ナビ

最新の
「PDF書き出し設定 (joboptions)」
をダウンロード



○○○○○○.joboptions

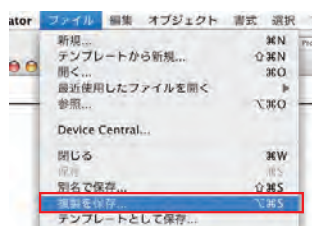
joboptionはダブルクリックしても
取り込まれません。[読み込み] ボタンから
[PDF 設定]を読み込んでください。

■ PDF書き出し

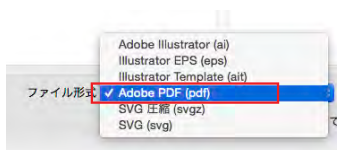
規定の「PDF 設定」を利用して、Illustrator から最終送稿 PDF データを保存する。

最終送稿 PDF データのフォーマットは PDF 形式、作業中のデータ保存は Illustrator ネイティブの Ai 形式を利用する。

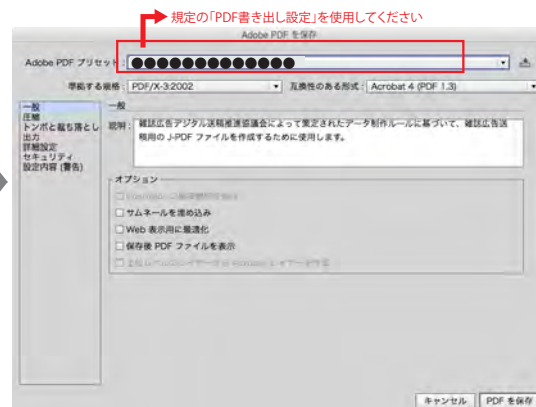
Acrobat Distillerやその他のアプリケーションからは送稿用 PDF データを作成しないでください。



1. [ファイル]メニューから
[複製を保存]を選択します。



2. [ファイル形式]で[Adobe PDF(pdf)]を選択し、
ファイル名と保存場所を指定して
[保存]をクリックしてください。



3. [Adobe PDFを保存]パネルで規定のPDF設定を選択して[PDFを保存]を
クリックします。



03

JMPAカラー準拠PDFプリフライト

モノクロ(グレースケール)PDFプリフライト／Acrobat



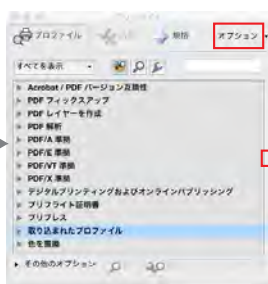
■プリフライトの実施

[雑誌広告送稿用_200909]・[雑誌広告送稿用_201101M]・[雑誌広告送稿用_201406M]及びAdobeソフトウェアに同梱されている[雑誌広告送稿用]は使用できません。規定の**モノクロ(グレースケール)PDF専用**プリフライトプロファイルを用いて、最終送稿PDFデータの検査を行う。

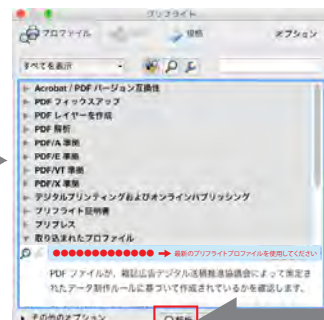
プリフライトの実行



1. [編集]メニューから[プリフライト]を選択します。



2. [オプション]メニューから[プリフライトプロファイル]を選択し、規定のプリフライトプロファイルを取り込みます。

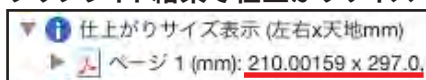


3. [プリフライト]パネル内に取り込んだ規定のプロファイルを選択して[解析]をクリックしてプリフライト結果を確認する。



PDF作成後は再度プリフライトを実施する

プリフライト結果で仕上がりサイズの確認



プリフライト結果上に仕上がりサイズ(左右x天地mm)は必ず表示される仕様になっていますが、**目的の媒体仕様**に合致しているかの検査は行いません。左の▶をクリックして表示された仕上がりサイズが意図した制作サイズであるかを確認してください。
※Acrobatの仕様により小数点以下のブレが発生する場合がありますが問題ありません。(許容誤差±0.1mm以内)

目視確認: 最終PDFから出力した出力見本で確認

規定のプリフライトチェックでは、[セーフティ(追い込みサイズ)] [塗り足しの有無] が**目的の媒体仕様**に合致しているかの検査は行いません。必ず最終PDFから出力した出力見本で目視確認してください。

プリフライトレポートの作成・出力、送稿セット作成→P15,16

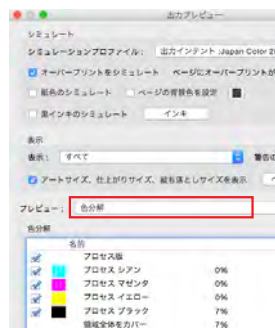
! 「線の太さが0.3pt未満」「ヘアラインを使用している可能性があります」の情報表示について
プリフライトでは線の太さが0.3pt未満のオブジェクトを情報表示する設定になっていますが、線の設定を行っていないオブジェクトまで情報として拾ってしまう事があります。これはAcrobatの仕様によるためですが、必ず一つずつオブジェクトの確認を行ってください。

「4Cまたは特色以外のカラーを使用」、「墨以外のカラーが使用されています(墨1色用)」のエラー表示について
パターンのエラー警告と共に表示される場合があります。パターンオブジェクトに分割・拡張処理を行う事でエラーを回避できます。

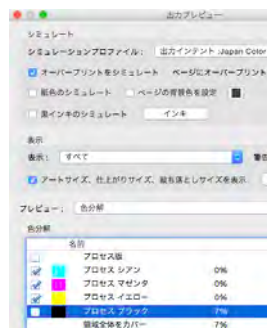


■ 不要な版の確認

プリフライトチェック後は、[ツール]メニューの[印刷工程]にある[出力プレビュー]の[色分解プレビュー]でプロセスブラックを非表示にして、不要な版情報が残っていないか確認を行う。



CMYK全版を表示



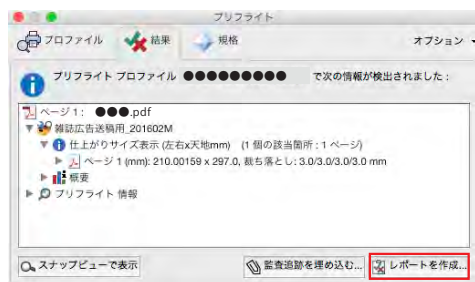
ブラック版を非表示

1. [出力プレビュー]パネルの[プレビュー]の[色分解]を選択します。

2. ブラック版を非表示にして不要な版情報が残っていないか確認してください。
上記例では不要な版情報が残っていることが確認できました。
不要な版が見つかった場合レイアウトデータに戻り修正してください。

■ プリフライトレポートの作成

プリフライト実施後、全ての確認作業（仕上がりサイズ、不要な版、セーフティ・塗り足し有無）で問題がないことを確認した上で、プリフライトレポートを作成・プリントアウトして送稿メディアに添付する。



1. 全ての確認作業で問題がないことを確認した後、[プリフライト]パネルの[レポートを作成]をクリックします。



2. [保存]パネルで[PDFレポート]の[概要]を選択して保存してください。[詳細]にチェックを入れて保存すると不要な情報を含んでしまうため不可。
ファイル名の最後に「_report」とつけ、最終送稿PDFデータと区別が付くようにしてください。



04 送稿セット作成・出力見本について

■送稿(入稿)4点セット

□メディア

1 原稿1メディアとし、次のメディアを使用する。

CD-R:700MB 以下(CD-RW は不可) / DVD-R:4.7GB 以下(DVD-RW は不可)

送稿メディア(CD-R・DVD-R)には、PDF 原稿とプリフライトを実施したプリフライトレポート(P15参照)だけを収め、レイアウトに埋め込んだ画像データや原稿の素材データは同梱しない。



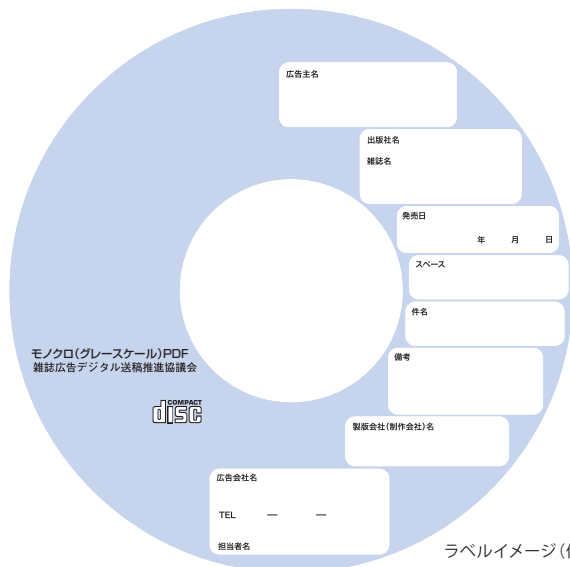
送稿PDFとレポートPDFのみ同梱されている



不要なファイルが同梱されている

メディアに貼るラベルの体裁や仕様は協議会として規定しません。

※ラベル面には「モノクロ(グレースケール)PDF」と明記し、広告主名、出版社名、雑誌名、発売日、スペース、広告会社名、件名、製版会社(制作会社) 名を必ず記入してください。



ラベルイメージ(例)

□仕様書

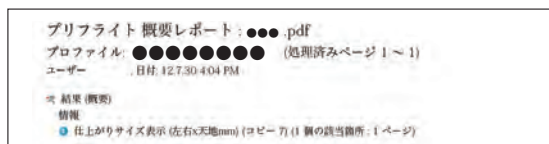
モノクロ原稿は「モノクロ(グレースケール)PDF仕様書」を使用する。

仕様書に記載事項を正確に記入し、プリントアウトして添付する。※仕様書のファイルは、送稿メディア内に含めない。

□プリフライトレポートの添付

最終送稿PDF データに問題がないことを確認した上で、プリフライトレポートをプリントアウトして送稿メディアに添付する。

プリフライトレポートPDF データも送稿メディア内に同梱する。



□出力見本

送稿メディアの最終送稿PDFデータをPostScript対応プリンターを使用した原寸出力物(拡大もしくは縮小は不可)を添付する。

出力はモノクロ出力を行い、出力見本であることを出力物に明記する。

出力見本・送稿PDFデータ内には恒常性管理用カラーパッチは不要。



出力物に明記する[出力見本]の文言はPDFデータ内には入れずに、手書きまたはシールを貼るなどして対応してください。

[雑誌広告デジタル送稿]
「モノクロ(グレースケール) PDF」デジタル制作ガイド
2011 年 1 月 14 日 改定 2025 年 9 月 1 日 改訂
雑誌広告デジタル送稿推進協議会

注意事項

- 本制作ガイドの一部または全部を雑誌広告デジタル送稿推進協議会の事前承諾なしに改編することを禁じます。
 - 本制作ガイドに記載された内容は最終送稿PDFデータまでの運用情報の提供を目的としておりますが、予告なしに変更されることがあります。
 - 国内で発行される雑誌における、雑誌広告専用の送稿データは、カラー原稿の場合はCMYKデータのみで、モノクロ原稿の場合はグレースケールデータのみです(RGBデータは一切不可)。従って、送稿データのガイドとして、画像データに関する記述・表示はカラー/モノクロそれぞれCMYK/グレースケールを基準として解説しています。
 - 本制作ガイドにはPhotoshop編がありますが、これはあくまでも画像処理が完了し、最終送稿PDFデータを保存する場合の解説であることをご了承ください。
 - 雑誌広告のデジタル送稿推進を目的に作成された本制作ガイドは、雑誌広告専用の仕様および内容となっています。
他の媒体での使用は出来ませんので充分ご注意ください。
Apple、Mac、MacOSはApple Inc.の商標で、米国および各国で登録されています。
Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Adobe Illustrator、Photoshop、AcrobatおよびPostScriptはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
その他すべてのブランド名および製品名は個々の所有者の登録商標もしくは商標です。
-